

「振り込め詐欺（オレオレ詐欺） あなたの危険度診断」



Q1 新聞やニュースなどはあまり見ない。

Q2 振り込め詐欺について、家族・知人と話題にしたことがない。

Q3 離れて暮らす家族（高齢者・学生など）がいる。

Q4 近くに気軽に相談できる人がいない。

Q5 急なトラブルなどにあうとよくないからなくする。

Q6 私にかぎって振り込め詐欺の被害に遭うはずがない。

Q7 警察官は電車で交通事故をうけることによる振り込め詐欺の被害に遭うことがある。

Q8 噂話や世間体などが気になる方である。

Q9 どんな理由でも孫や家族のためならお金を用意する。

Q10 電話に出たときは必ず相手の名前を確認する。

Q11 個人情報がかぎって他人に漏れることはない。

Q12 自分では正しいと思っても、人から考え直さなければならない。

Q13 用心のため家族にしか分からない合言葉を決めている。

危険度ランクA
診断

危険度ランクB
診断

危険度ランクC
診断

危険度ランクD
診断

危険度ランクE
診断

はい →
いいえ →

はい

いいえ

はい

はい

はい

はい

いいえ

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

→

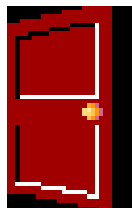
→

→

あなたの危険度ランク診断結果

- すぐに振り込まない! ... 事実を確認する
一人で振り込まない! ... 必ずだれかに相談する

振り込め詐欺 体験コーナー



実際に犯人からかかってきた電話を

html 形式「あなたの危険度ランク
診断結果」で聞くことができます。

危険度ランク A	<ul style="list-style-type: none">・最も詐欺被害に遭いやすいタイプです。・新聞やニュースに積極的に触れ、ご近所とのおつきあいを深め、自分から進んで犯罪情報を知る努力をしましょう。・あわててお金を振り込む前に、必ず家族か警察などに相談することが必要です。
危険度ランク B	<ul style="list-style-type: none">・振り込め詐欺に対して警戒心が不足しています。・平成16年中の県内の振り込め詐欺の被害件数は628件、被害額は約6億7千万円にも達しました。・オレオレ詐欺の電話はいつかかってくるか分かりません。・振り込め詐欺防止の注意事項等を電話口に貼るなどして、常日頃からオレオレ詐欺に対する備えをしておきましょう。
危険度ランク C	<ul style="list-style-type: none">・オレオレ詐欺は、人ごとではありません。・犯人グループは、電話帳や何らかの方法で入手した個人情報をたよりに片っ端から電話して、「獲物」がかかるのを待っています。・「まさか私に」という油断、私は大丈夫という過信は禁物です。・まず、相手の名前を必ず確認し、実名であっても一旦電話を切り再度本人かどうか確認してください。

危険度ランクD	<ul style="list-style-type: none">・振り込め詐欺に関する基本的な知識や情報は持っているようですが、実際に、自分に電話がかかってきたときにそのとおり対応できるかが鍵になります。・犯人は、相手を動揺させて信じ込ませます。間合いを入れたり、理由をつけて一旦電話を切るなど、自分を落ち着かせる工夫をしましょう。
危険度ランクE	<ul style="list-style-type: none">・振り込め詐欺に対する対策はかなり進んでいます。・しかし、振り込め詐欺の手口は次々と出現しています。常に研究を怠らず、自己防衛を進めてください。・是非その豊富な知識と情報を他の方にも教えてあげるなど、地域全体の防犯対策にもご協力ください。

危険度診断解説

- Q 1 これだけ毎日、振り込め詐欺の被害が報道される中で、どうして被害が続発するのでしょう。
被害に遭わないためには、最新の手口や撃退方法などの情報を自ら進んで知ることが大切です。
被害は人ごとではありません。たった今あなたのところに振り込め詐欺の電話がかかってくるかも知れませんよ。
- Q 2 みんなで注意しあうことが大切です。
特に被害に遭いやすい高齢者や若年層の方には繰り返して話をしてください。
そして家族の安否については常に確認しあいましょう。
- Q 3 離れて暮らしていると、近況等が分からず、被害に遭う可能性が高くなります。
日頃から、十分に連絡をとりあい、近況を知ることはもちろん、緊急の連絡先や複数の連絡方法を定めるなど、もしもの時に備えましょう。
特に、一人暮らしの高齢者は情報が不足がちです。電話でオレオレ詐欺について注意して上げましょう。
- Q 4 被害者の多くが誰にも相談せずに、その日のうちに現金を振り込んでいます。
振り込みを要求する電話は理由をつけていったん電話を切り、家族や知人・警察などに必ず相談してください。
- Q 5 なりすました相手になぜ騙されるのか？
その一番の原因は、急な身内のトラブルにパニック状態となることにあります。
日頃から、このような電話がかかってくることを予想して、心構えをしておくほか、電話が来たときには、理由をつけていったん電話を切って落ち着くようにしましょう。
- Q 6 昨年中の県内の振り込め詐欺の被害件数は628件、被害総額は約6億7千万円でした。
被害者のほとんどは「オレオレ詐欺についてはテレビ等で良く知っていたが、まさか自分が...。」と感想を述べています。
手口はますます巧妙化しています、油断は禁物です。

Q 7	<p>警察官が示談交渉をすることは絶対にありません。</p> <p>また、弁護士や保険会社職員が示談交渉の当事者と面会することなしに、電話で今すぐ示談金を振り込めという要求をすることはありません。</p> <p>このような電話は、振り込め詐欺に「間違いない！」</p>
Q 8	<p>「身内の恥を世間に知られたくない。」「何とか穏便に。」という心理を突くのがこの手の犯罪です。</p> <p>一人で判断せず、必ず本人に確認する。身近な人に相談することが重要です。</p>
Q 9	<p>家族を心配する心を逆にとるのがこの種事件の特徴です。</p> <p>「今日中に、指定口座に大金を振り込め！」通常の生活の中でこんなことはあり得ません。</p> <p>あわてず、もう一度冷静に考えてみましょう。</p>
Q 10	<p>まず相手に自分の名前を言わせましょう。</p> <p>絶対にこちらから自分の子どもや孫の名前を言わないことが大切です。</p> <p>もし、本人の名前を言ったとしても、「おかしいと感じたら、その人しか知らないことを尋ねてみましょう。」</p>
Q 11	<p>最近では、卒業生名簿、顧客名簿、アンケートなどの個人情報が売買の対象とされ、犯罪者にも流出しています。</p> <p>あなたの情報も決して安全ではありません。</p> <p>個人情報は漏れていることを前提に詐欺に備えましょう。</p>
Q 12	<p>いったん真実と思いこむと、人の忠告が耳に入らなくなるのもこの種被害の特徴です。</p> <p>必死に止める金融機関の窓口担当者の制止を振り切って、多額の現金を振り込んだ例も少なくありません。</p> <p>もう一度冷静になって、誰かに相談することが大切です。</p>
Q 13	<p>最近では「オレオレ」と言って家族を装う手口は減っており、犯人の多くは、何らかの方法で住所や氏名、生年月日を調べて電話をかけています。</p> <p>本人であるかを確認するためには、あらかじめ家族しか分からない「合い言葉」を決めておき、確認しましょう。</p>